

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「化膿性脊椎炎における治療法の検討」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：2000年1月から2015年9月
- 2) 受診科：整形外科
- 3) 対象疾患名：化膿性脊椎炎
- 4) 使用する情報：診療情報（身体所見、血液データ所見、画像所見など）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：整形外科  
研究代表者：助教 松原 庸勝  
研究分担者：講師 山田 圭  
                  助教 神保 幸太郎

### 2) 研究の意義と目的：

化膿性脊椎炎に対する治療は様々な方法があります。当院では手術治療として経皮的病巣搔爬ドレナージ術を施行していますが、聖マリア病院では高圧酸素療法を施行しています。どちらの方が化膿性脊椎炎に対して効果があるか、調査することを目的としています。

### 3) 研究の方法：

化膿性脊椎炎に対して以前に入院した患者様の診療情報を調査し、身体所見、血液検査所見、画像所見などを解析し、比較します。過去の資料をもとにした研究のため、患者さんの費用の負担はありません。

### 4) 研究期間：平成27年9月倫理委員会承認後～平成30年3月31日

### 5) 上記の情報の使用を選定した理由：

化膿性脊椎炎に対するより良い治療方法を検討するためです。

### 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

この研究を実施するにあたって患者さんから提供された診療情報から住所、名前等が削られ、代わりに新しい番号をつける匿名化を行います。患者さんとこの番号とを結びつける対応表

研究番号 15191

は、研究責任者が厳重に管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによって、診療情報の解析を行なう研究者には、誰の情報を解析しているのか分かりません。この研究で収集した情報は研究終了後 10 年間保存し、その後に廃棄します

7) 研究成果の発表の方法：

研究の結果はこの研究に関連する学会で報告し、関連する分野の学術雑誌に論文として公表する予定です。また、データベース上で公表することもあります。いずれの場合も公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、患者さんの個人の情報は一切公表しません。

8) 利益相反：

本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名) 松原 庸勝 (所属、職名) 整形外科 助教  
(住所) 福岡県久留米市旭町 67 番地 久留米大学整形外科  
(TEL) 0942-31-7568 (FAX) 0942-35-0709